

観音寺中学校 道徳通信 1月号

新しい年が始まりました。1月はこれまでの自分をふり返し、これからの自分を考える大切な時期です。1日1日の行動や言葉を大切にしながら、周りの人の気持ちにも目を向けていきましょう。

先月1年生では、「私の『ふつう』と、あなたの『ふつう』」という授業を行いました。それぞれ共感できるところもあり、一生懸命授業に取り組みました。

私の「ふつう」と、あなたの「ふつう」【公正、公平】

右のポスターを見て、これまでに差別や偏見がなかったかを振り返り、外国人に対する差別や偏見の問題について考えました。そして、これらの問題を通して、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会を実現するためにはどうすればよいかを考えました。



○ 授業を通しての感想（生徒記述より）

<p>私も今まで生活をして偏見だったなと思うことがあった。だからこれからは多様性を認め合い、自分のふつうをおしつけずに相手のふつうも理解していけるようにしたい。困っている外国人など日本の文化やルールがわからなそうなら教えてあげられるようにしていきたい。</p>	<p>正直、自分も外国人だからと思うことがあったけど、授業で考えて、人種の違いで偏見はやめようと思った。だから、外国人の良さや文化を知り、優しく接することが大事だとわかった。いつか外国の人と関わることがあると思うので先入観を持たずに接したい。</p>
<p>上から見たら人を怒らせてしまったり、傷つけてしまったりするということがわかりました。外国人でも考えたり、思ったりすることは一緒だし、みんなそれぞれ違っているので、1人1人を大切にしたいと思いました。</p>	<p>これから見た目やこんな人たちだからこうだと決めつけしないで、その人がどんな人かを知った上で判断できるようにしたいです。</p>
<p>自分は気づかないうちに外国人を下に見ていたことに気づきました。なぜ偏見をしているかなど、よく考えて気づいたのでよかったですと思いました。なくすためには自分が教えたり、動いたりしないとわかりました。</p>	<p>これまでの生活の中で、僕は何かに対して諦めてしまったことがありました。他にもできないと決めつけてやらなかったり、面倒くさくなってやらなかったりしたことがありました。でも、今日の授業を受けて、差別や偏見をなくすためには、何事にもチャレンジしていくことや同じ目線、相手を思いやる目線を大切にしていきたいです。</p>

道徳通信 1 2月号の返信より

- ・環境問題等の観点からも、ごみを減らすことができれば、自ずとごみ箱も増やす必要もなく景観もより良くなると感じました。また、景観が良くなることで、ポイ捨ても自ずと減り、クリーンな状態を維持できると思います。そのためには、一人ひとりの意識改革が必要だと感じました。
- ・自分が出したごみについて、最後まで自分で処理をする意識を持つことが必要なと思いました。学生の頃からしっかりと考えてほしいです。
- ・誰かと話をする時は、傷つけないように気をつけて話しをするようにしていますが、やはり、一言余計なこと言ってしまうたり、反省することがあります。子供にも、私の一言でプレッシャーになってないか心配してしまいます。
- ・子供達の感想を読んで、しっかりとゴミを減らす事を考えている事に嬉しくなりました。みんなの意識で、美しい日本の環境を守っていく事ができたら、素晴らしいですね。
- ・一人一人がゴミ箱に捨てる事が大事だと思いました。

ご返信、ありがとうございました♪

ご感想やご意見がございましたら、LEBER（リーバー）のアンケート「返信欄」にてお気軽にご回答ください。たくさんのご返信をお待ちしております。